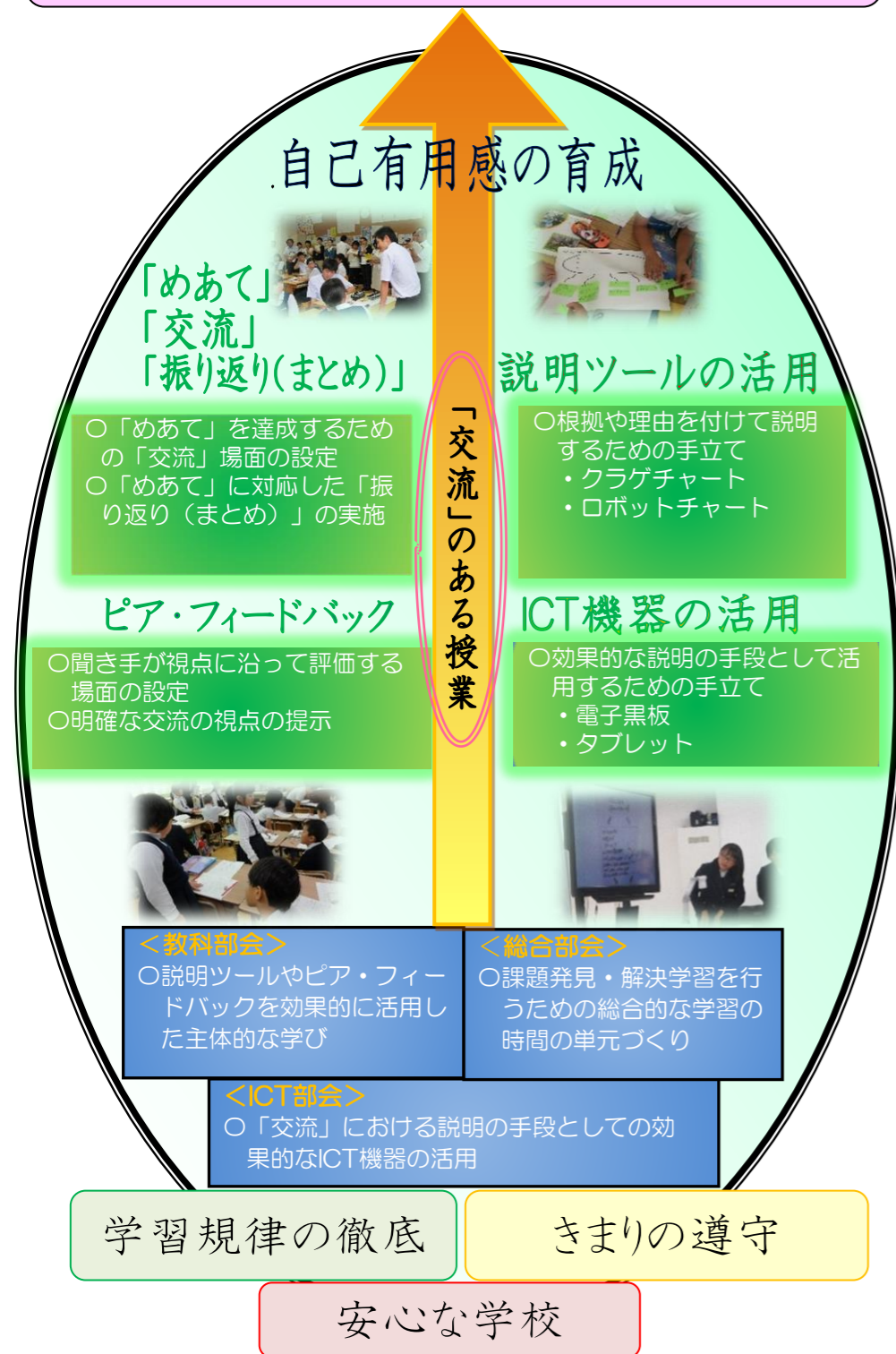


研究主題

『交流』のある授業づくりを通じた説明力の育成

本校が目指す「説明力」を身に付けた児童・生徒の姿

- 自分の意見の根拠を明確にして表現できる児童
- 自分の意見を説得力をもって表現できる生徒



平成27年度大野中学校区取組の重点項目

		「説明力」を身に付けた児童・生徒の姿	
		表現する際の目指す姿	反応する際の目指す姿
小学校	1年 2年	大事なことを順序を考えて進んで表現できる児童	相手の考えを受け止め、うなずくなどして聞くことができる児童
	3年 4年	自分の考えに理由を付けて表現できる児童	話し手の考えと自分の考えの相違点に気を付けて聞き、言葉を返すことができる児童
	5年 6年	自分の意見の根拠を明確にして表現できる児童	話し手の意図をとらえ、比べたり関連付けたりして聞き、自分の意見をもつことができる児童
中学校	7年 8年 9年	自分の意見を説得力をもって表現できる生徒	話し手の意見を評価して聞き、説得力をもって自分の意見を返すことのできる生徒

大野やりきり100

内容：基礎的・基本的な問題を作成し、学期ごとに調査を実施する。
 【小学校】国語科・算数科
 【中学校】国語科・社会科・数学科・理科・英語科
 指標：正答率が60%以上の児童を85%以上にする。
 対象：小学校第4・5・6学年児童
 中学校全生徒

地域の学習支援

授業支援

- 【小学校】
 - ・国語科（書写）
 - ・図画工作科
 - ・家庭科（調理・被服実習）
 - ・音楽科 など
- 【中学校】
 - ・家庭科（調理・被服実習）
 - ・大野やりきりへの支援

放課後学習支援

- 【小学校】
 - ステップアップタイム
 - 内容：国語科教材文の音読
 - 回数：学期に4回程度
- 【中学校】
 - 内容：各教科の補充
 - 回数：学期に10回程度

平成27年度廿日市市立大野中学校区
小中一貫教育研究会

研究主題

『交流』のある授業づくりを通じた
説明力の育成



学校教育目標

確かな学力と豊かな心を身につけた児童生徒の育成

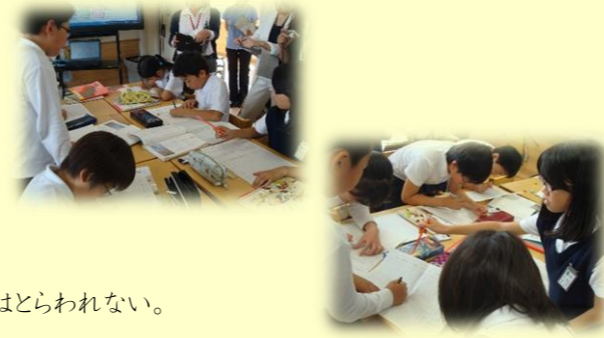
～大野から志をもった若者を～

「めあて」の定義

- ① 教師が1時間の授業で学習させたいこと(本時の目標)を、児童生徒に見通しをもたせるために示すものである。
- ② 児童生徒に1時間で何をすれば(できれば)よいのかがわかる、振り返りが可能な表現にする。

「交流」の定義

- ① めあてを達成するための手立てである。
- ② 根拠や理由をつけて話したり書いたりする活動である。
- ③ 聞き手は、視点に沿って評価(フィードバック)する活動である。
- ④ 学習形態(ペア、グループ、全体)にはとられない。

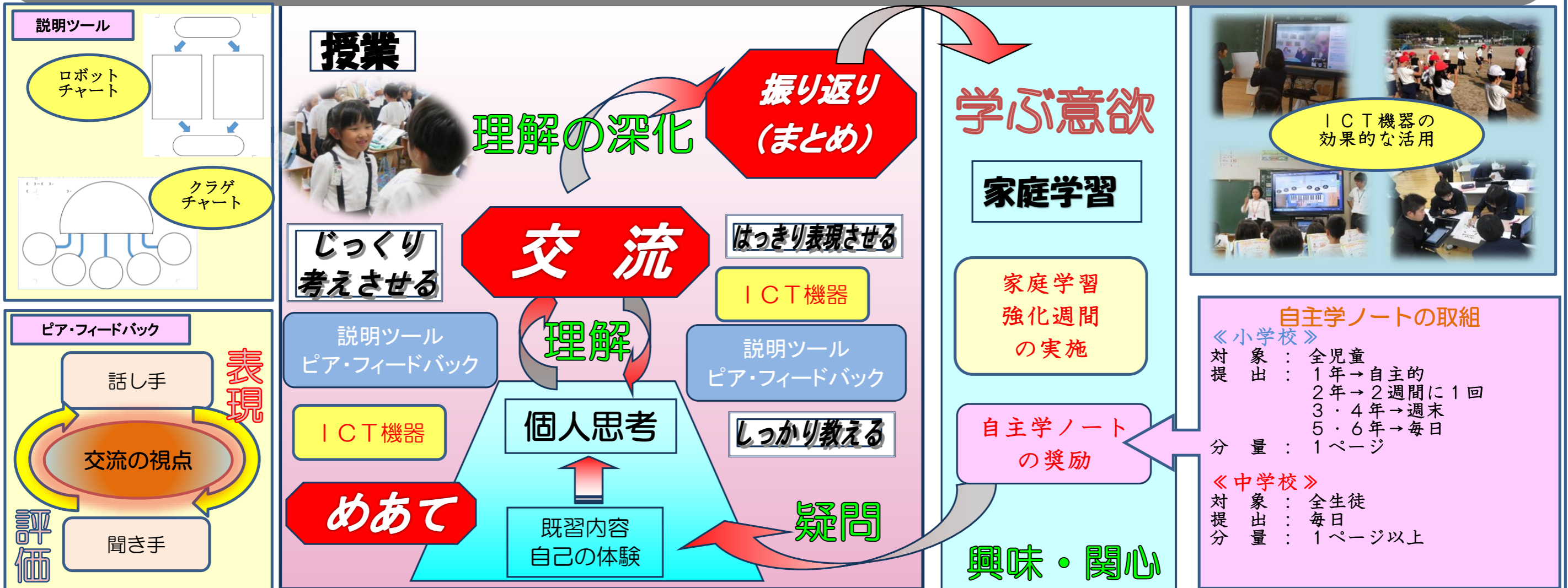


「振り返り(まとめ)」の定義

- ① めあてに対応した振り返り(まとめ)
 - ☑ 毎時間行う。
- ② 学習方法や態度・意欲・他者との関わり等に関する振り返り(まとめ)
 - ☑ 必要に応じて行う。
- ③ 児童・生徒の言葉による表現
 - ☑ 話したり書いたりする。



小中一貫した「大野まなび」のモデル



学習規律

